

並列プログラミング Parallel Programming

2022 2Q

演習 第4回

情報理工学院 情報工学系

本日の流れ

- 課題内容の説明
- 演習に取り組む

● 目的

- Multi Thread Programming を体験
- GUI のスレッド動作の理解
- 並行サーバプログラム

● 題材

- 電卓プログラム
- 映像送受信プログラム

課題のダウンロード

以下からダウンロードしてください

学内アクセス

- www.img.cs.titech.ac.jp/lecture/para/

準備 (1)

- ダウンロードした para4-os 名 .zip を展開する

```
unzip para4-os名.zip
```

- 解凍後のディレクトリ

home directory

parawork(演習用作業トップディレクトリ)

javafx-sdk-18.0.1

Para3

Para4

Makefile (後述)

README 説明文

sweet.png

bin

クラスファイル (*.class) が格納される (解凍直後は空)

javadoc

ドキュメントが格納される (解凍直後は空)

src

ソースファイル

lib

実行に必要なjavaのライブラリ集(jarファイル)

準備 (2)

- Para4 以下の `._*` ファイルを再帰的に消去

```
cd Para4  
make cleanall
```

- MacOS では、`._` で始まるファイルが作成されることがありますが、コンパイル時の障害になるので消去

準備 (3)

- ソースファイルを **javac** コマンドでコンパイルしてクラスファイルを作る

今回の演習ではトップディレクトリで

Calculator.javaが他のクラスに依存する場合、順次コンパイルしてくれる

```
javac -d bin -encoding UTF-8 --module-path ../javafx-sdk-18.0.1/lib  
--add-modules javafx.controls,javafx.swing -sourcepath src -classpath  
lib/*: src/para/calc/Calculator.java
```

として下さい

Windowsでは:を;に置換

実際は一行で書く

-d bin	コンパイル後のクラスファイルをディレクトリ bin に置く
-encoding UTF-8	ソースファイルの文字コードが UTF-8 であることを示す
-sourcepath src	ソースファイルがディレクトリ src 以下にあることをコンパイラに教える
--module-path	モジュールファイルがあるディレクトリをコンパイラに教える
--add-modules	依存するモジュールを列挙する
-classpath	依存するクラスやライブラリのありかをコンパイラに教える

※ <https://docs.oracle.com/javase/jp/17/docs/specs/man/javac.html>
でその他のオプションを確認すること

準備 (4)

● java コマンドでクラスファイルを実行する

今回の演習ではトップディレクトリにて

```
java --module-path ../javafx-sdk-18.0.1/lib --add-modules  
javafx.controls,javafx.swing -cp bin:lib/*: para.calc.Calculator
```

パッケージ名 起点となるクラスの名前

として下さい (デモ用プログラムは para.Main0? と
para.calc.Calculator があります)

--module-path javacのオプションと同じ役割

--add-modules javacのオプションと同じ役割

-cp bin:lib/*:

-cp は -classpathの短縮形

実行に必要なコンパイル済みクラスファイルがディレクトリbin 以下に置かれていること、標準以外のjavaライブラリファイル(jarファイル)がlib/に置かれていることを java コマンドに教える

※ <https://docs.oracle.com/javase/jp/17/docs/specs/man/java.html>
でその他のオプションを確認すること

準備 (5)

- javadoc コマンドでソースファイルのコメント文から HTML のドキュメントファイルをつくる

```
package para.paint;
import javafx.application.Application;
...
/** JavaFXで作成するお絵描きプログラム. */
public class Paint extends Application
{
    /** 描画領域. */
    Canvas canvas;
```

HTML文書の出力先
ディレクトリ

実際は一行で
書く

今回の演習では、Para4 直下

```
javadoc -html5 -charset utf-8 -encoding UTF-8 -d javadoc -sourcepath src
--module-path ../javafx-sdk-18.0.1/lib --add-modules
javafx.controls,javafx.swing
-link https://docs.oracle.com/javase/jp/17/docs/api
-link https://openjfx.io/javadoc/18
-package para.calc para para.graphic.shape para.graphic.target
para.graphic.parser para.graphic.camera
```

外部javadocのURI
リンクを作成する
には必要

パッケージ名
として下さい

※<https://docs.oracle.com/javase/jp/17/docs/specs/man/javadoc.html>
でその他のオプションを確認すること

準備 (5)

● コマンドをいちいちタイプするのが面倒 ...

今回は Makefile を用意したので make コマンドで javac , javadoc の実行が簡単に行える

make Calculator

make Main07

make Main08 PARAMETER=hostname

make Main09

make clean

make doc

ホスト名か192.168.0.1のようなIPアドレスの文字列で接続先を指定可能

省略すると、
PARAMETER=localhost

Calculator をコンパイルして、実行

Main07 をコンパイルして、実行

Main08 をコンパイルして、実行

Main09 をコンパイルして、実行

bin 以下のクラスファイルをすべて削除

javadoc コマンドを実行

ソースコードを更新してもmakeが感知しない場合があるので、コードを書き換えても結果に変化がない場合は、一度 make clean して再コンパイルして下さい

上を実行すると実際に発行されたコマンドが表示される Makefile を自分好みに変更してよいです

Makefileの記述ではタブ\tは意味があります。スペースで置き換えると、makeが正しく解釈できません。
Makefileの書き方は各自調べて下さい

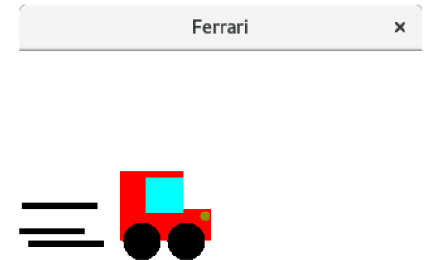
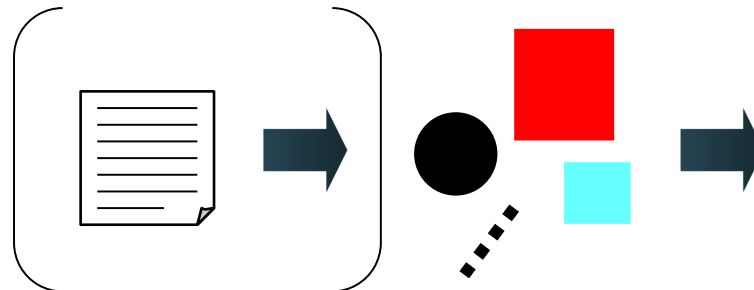
課題 2 以降のプログラムの説明 (1) 概要

● プログラムは5つのパッケージから成る

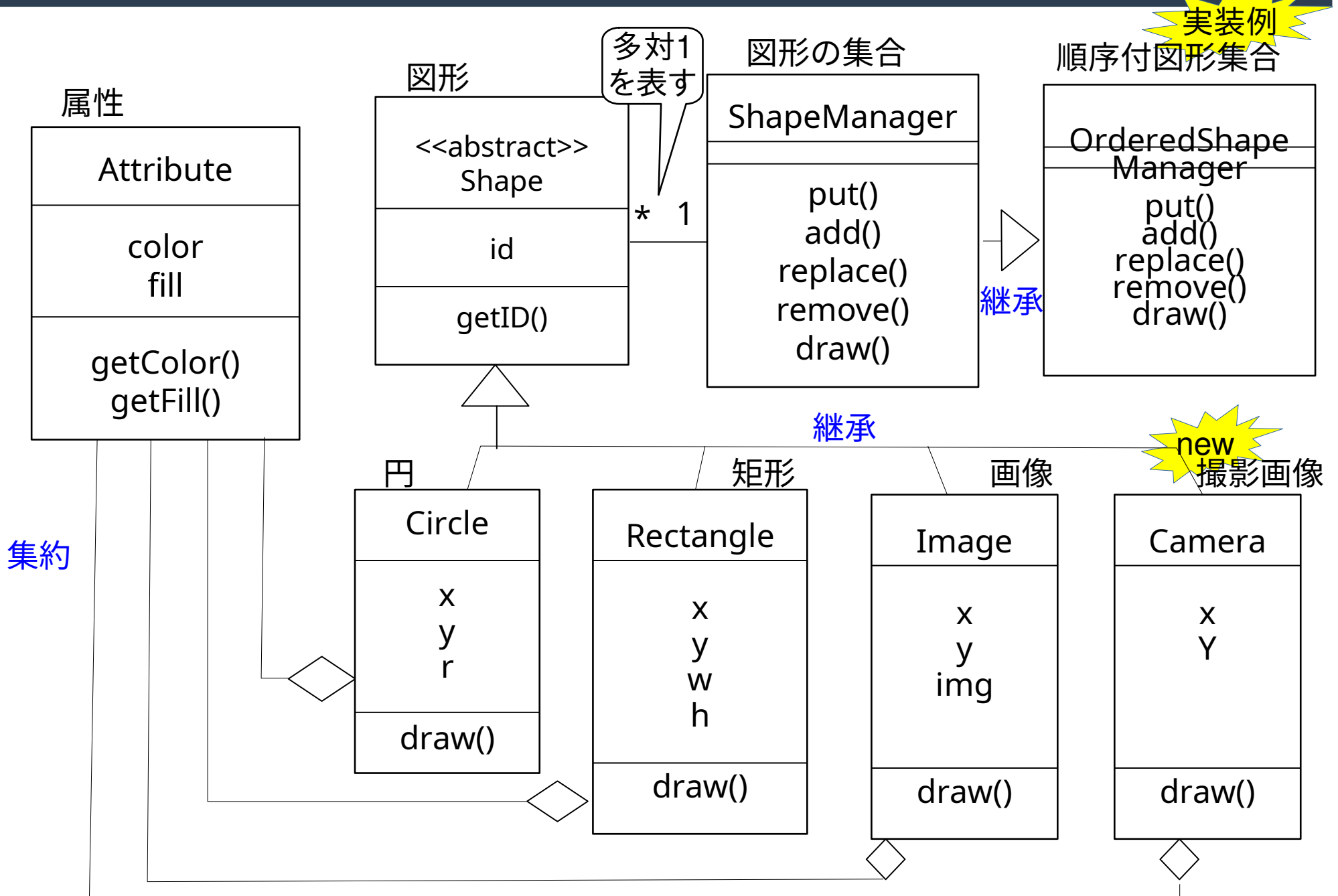
- メインプログラム (para パッケージ)
- 図形 (para.graphic.shape パッケージ)
- 出力装置 (para.graphic.target パッケージ)
- 構文解析器 (para.graphic.parse パッケージ)
- ウェブカメラ (para.graphic.camera パッケージ)

● 基本的流れ

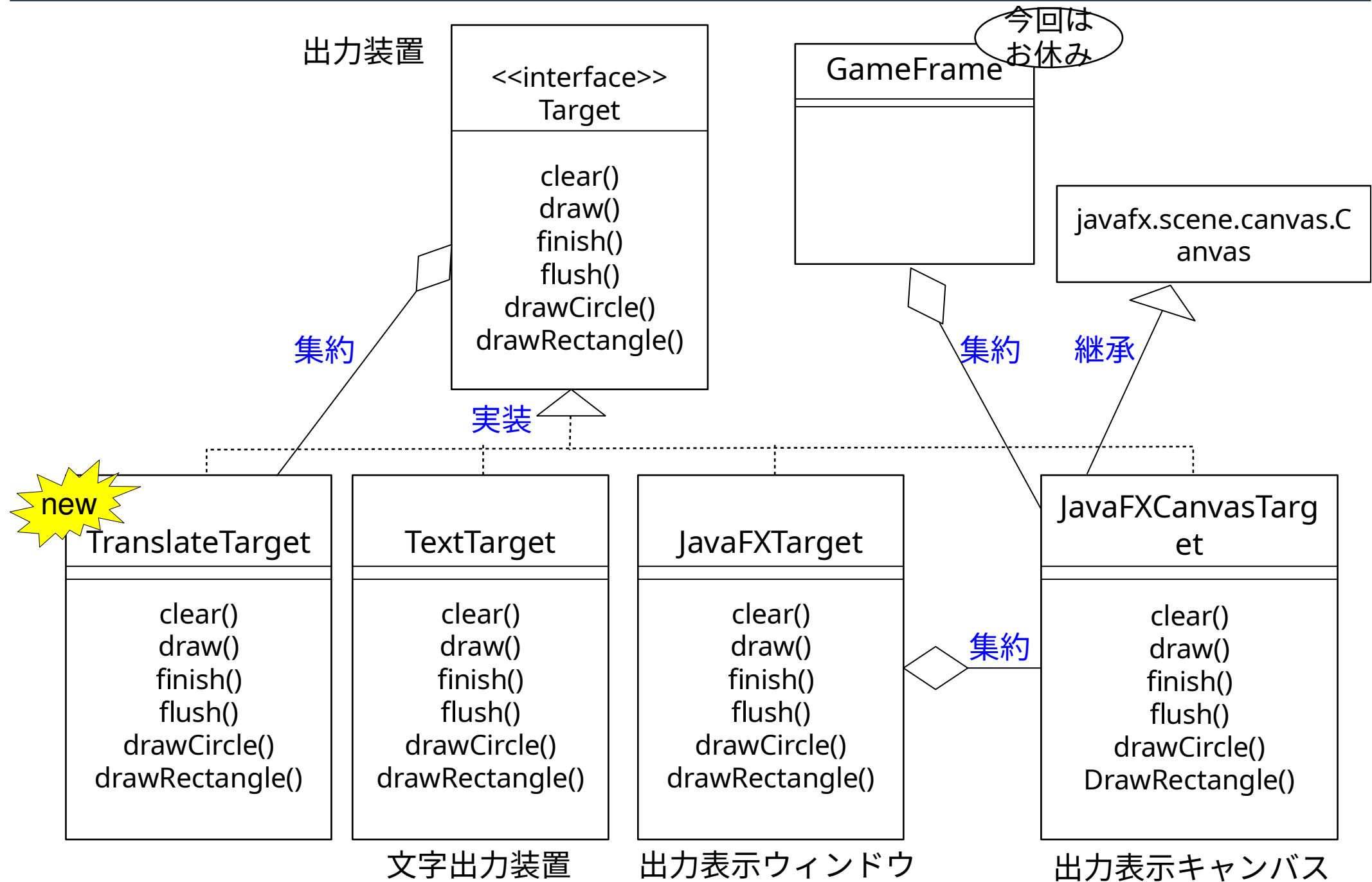
- メインプログラム内で図形オブジェクトを生成し、出力装置に対して出力する
- 命令が書かれた文字列から構文解析器で図形オブジェクトを生成することもある



課題 2 以降のプログラムの説明 (2) 図形



課題 2 以降のプログラムの説明 (3) 出力装置

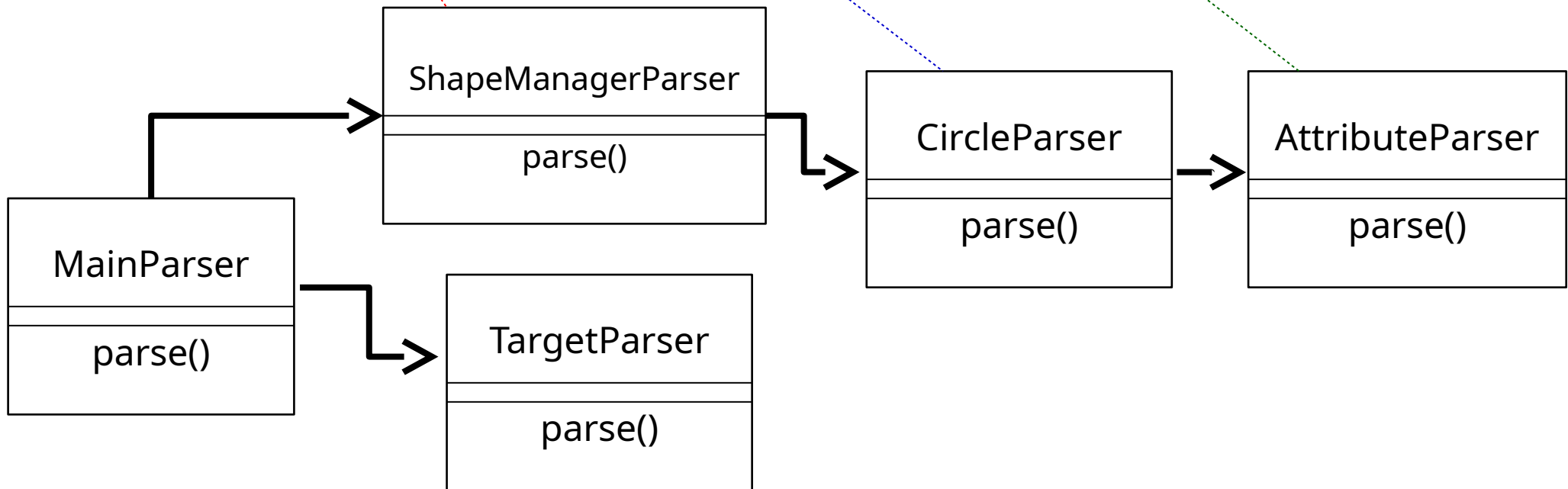


課題 2 以降のプログラムの説明 (4) 構文解析器

● 命令文を解析しながら対応するオブジェクトを生成

命令文：

shape 0 Circle 10 10 40 Attribute 100 40 60 true

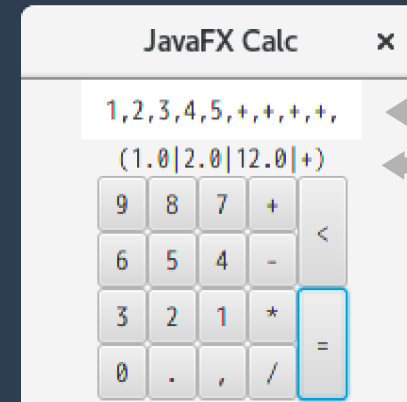


課題 0

- **javadoc コマンドを実行して HTML 文書を生成し、ブラウザで閲覧する**
 - Mac OS X では `open HTML ファイル名` とすればブラウザが起動する
 - 各クラスのパッケージ名などを確認する
 - ブラウザのエンコーディングの設定は UTF-8 にする
 - コンパイルエラーが起こる場合は展開直後にトップディレクトリで一度 `make cleanall` とタイプする

課題 1

第1回課題で登場した電卓プログラムを「式の評価途中の状態を結果表示部に逐次ゆっくり表示する。また計算途中であってもユーザが次の数式の入力を行える。」ように改造しよう。ただし、次の数式の処理は計算途中の数式処理が完全に終わって答えが出力された後に開始すること。



1.1)src/para/calc/Calculator.java 内の、

`ex = new Executor1();` を `ex = new Executor2(output);`

に変更してみたところ、途中結果を表示することはできなかった。期待通りに動かない理由を説明せよ

hint Platform.runLater()は1.1の回答には関係ない

hint operation()を呼び出しているスレッド、writeState()を呼び出しているスレッドは何かを考える

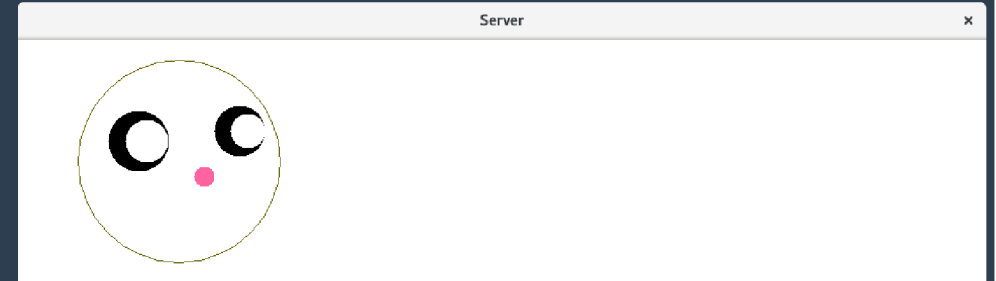
1.2)"="Buttonのクリックイベントを引き金としてスレッドを新たに起動するようにして期待通りに動くように改良せよ。また改良方針を文章で記述せよ

hint 計算の処理途中で次の計算処理が始まらないように工夫する。実装法は様々ある。Thread.join()の利用、ThreadPoolの利用、javafxパッケージの便利なクラスの利用

1.3)改良後、javafx.application.Platform.runLater()を使わず、label.setText(state);を呼び出すとエラーが発生するはずである。そのエラー文を報告しなさい。また、runLater()メソッドの処理内容と、javafxにrunLater()が用意されている意味を考えて答えよ

課題 2

配布されたpara.Main07は反復サーバの実装であるが、これを改造して同時接続数を3まで許す並行サーバを作成せよ。途中で接続が切れた場合、新たな接続要求を処理できること。



2.1) para.Main07はポート番号30000番へのTCP接続を受け付けるように待機している。次のようにcurlコマンドで接続、送信、終了を行うことを一回と数え、それを4回行ってみよ。

Windows10 PowerShellでは curl.exe

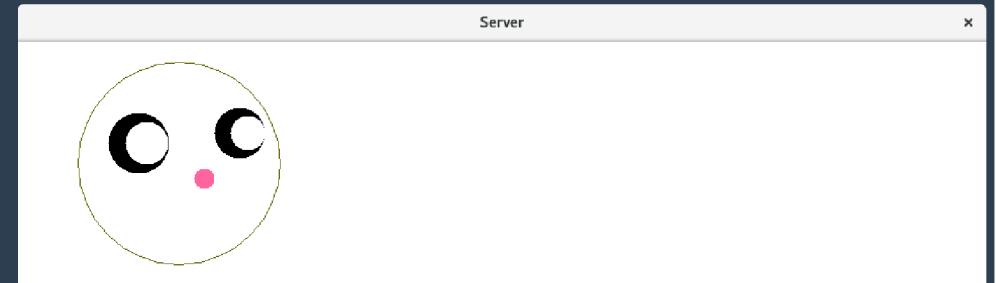
```
% curl -v telnet://localhost:30000
* Trying ::1:30000...
* TCP_NODELAY set
* Connected to localhost (::1) port 30000 (#0)
reset
target clear
shape 10 Circle 160 120 100 Attribute Color 100 100 0 Fill false
shape 9 Circle 185 135 10 Attribute Color 255 100 160 Fill true
shape 8 Circle 120 100 30 Attribute Color 0 0 0 Fill true
shape 7 Circle 220 90 25 Attribute Color 0 0 0 Fill true
shape 6 Circle 128 100 21 Attribute Color 255 255 255 Fill true
shape 5 Circle 228 90 17 Attribute Color 255 255 255 Fill true
target draw
target flush
^C
%
```

間違えずに打ち込むか
コピー&ペースト

Ctrl キーと C キーの同時押しでcurlの終了

課題 2

配布されたpara.Main07は反復サーバの実装であるが、これを改造して同時接続数を3まで許す並行サーバを作成せよ。途中で接続が切れた場合、新たな接続要求を処理できること。



2.2)改造前のプログラムで明示的に立ち上げられている2つのスレッドとその処理内容について説明せよ。

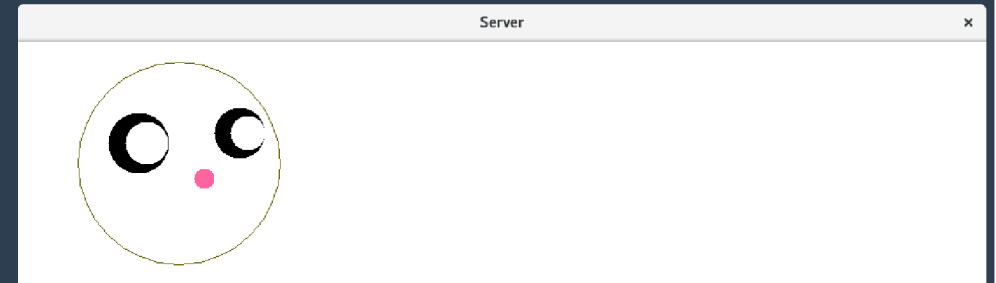
2.3)2.2で答えたスレッド間で共通して参照するデータに関して、どのような同期の配慮がされているかを答えよ。またその配慮は十分であるか、不十分であるかを検討し、十分であると考えられる場合はその理由を、不十分であると考えられる場合は問題となる具体的な状況を説明せよ。

2.4)同時に3接続を許す並行サーバをスレッドプールを使って実現せよ。クライアントからの接続が切れて接続数が3未満になった場合には新たな接続要求を処理できること。

hint 接続が切れる順番は、接続開始の順番と同じとは限らないことに注意

課題 3

課題2で作成したプログラムを更に改造し、同時接続している全クライアントへサーバのウィンドウに表示される全データを送信するようにせよ。サーバのウィンドウには改造後も改造前と同様の表示がされること。このプログラムはpara.Main09とすること。



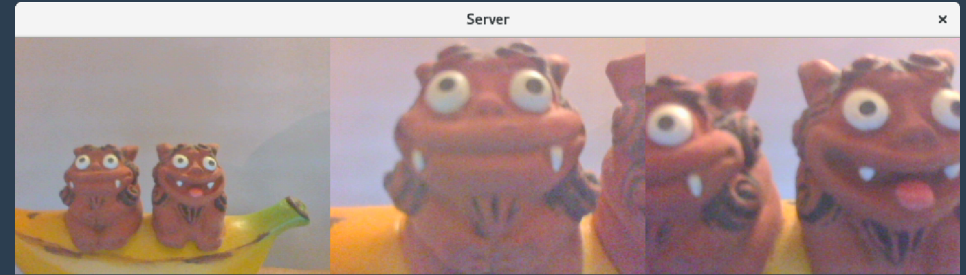
3.1)改造を行い、その実装方針について説明せよ。特にスレッドをどのように割り当てたかとそのようにした理由を述べよ。

hint 送信データの生成にはTextTargetを利用

hint 開発中は、TextTargetのコンストラクタへソケットのストリームを入れるのではなく、System.outを使うと便利

課題 4

配布されたpara.Main08はCameraというShapeを継承した図形をサーバへ送る一方方向通信をするプログラムである。これにサーバからの受信機能を追加しpara.Main09と送受信できるようにせよ。受信データの図形をウィンドウに表示するようにせよ。



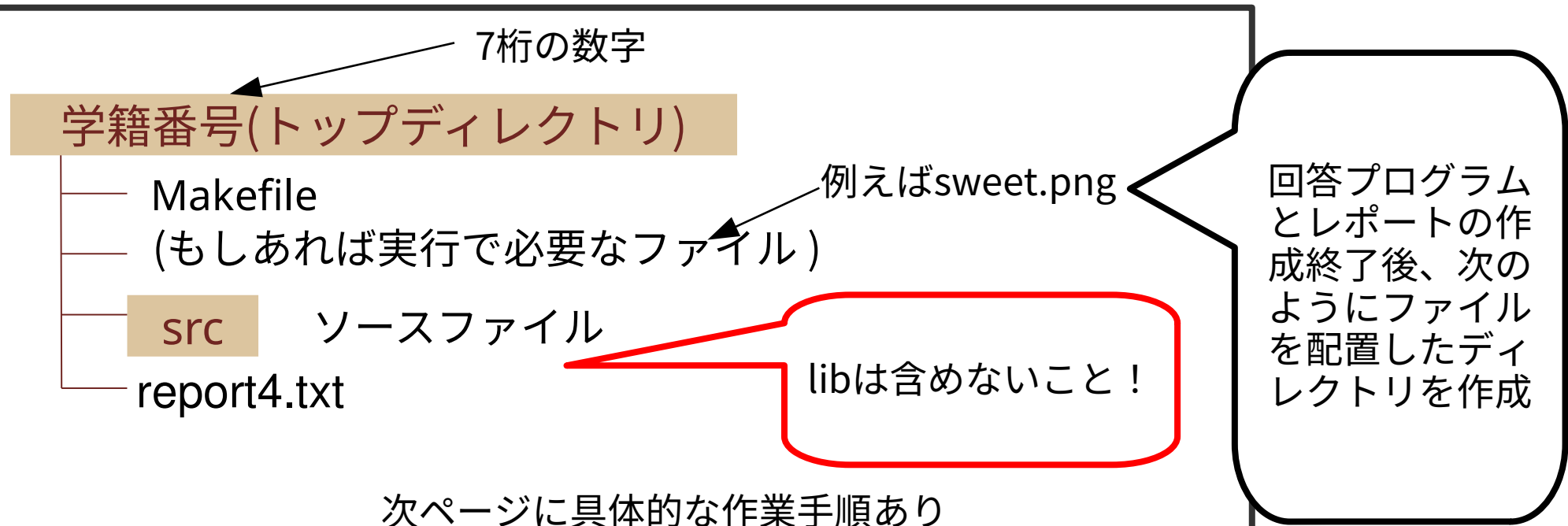
4.1) PrintStreamはOutputStreamなどの他のストリームと違い、IOExceptionを発生させない仕様である。そのため例外が発生したことの確認を逐次行う必要がある。どのように行うかを具体的に説明せよ。また、PrintStreamだけがこのように例外処理が異なる仕様である理由を調べて説明せよ。

hint javadocを見よ

4.2) 送信用と受信用のスレッドを別々に起動し、データを送信していなくても、データを受信する度にそれを表示する機能を追加実装せよ。

提出方法 (1 of 3)

- para4.zip を展開したディレクトリ構造を保ったまま、課題の変更作業を行う
- 各課題で自分が変更したファイルの先頭には自分の名前と学籍番号を書いておく
 - プログラムの場合はコメント内に書く
- 課題 1 から 4 の回答文、工夫点および感想を書いた report4.txt を用意する
(雛形は課題のウェブページ)



提出方法 (2 of 3)

● 提出用ディレクトリを作成する

学籍番号から7桁の数字にすること

```
mkdir dir
```

● ソースファイルのディレクトリのコピーを作る

今回はPara4

```
cp -R トップディレクトリ/src dir
```

● *dir* に Makefile report4.txt もコピーする

```
cp トップディレクトリ/Makefile トップディレクトリ/report4.txt dir
```

● 次のコマンドを実行する

学籍番号に対応する7桁の数字にすること

```
zip ex4-2012345.zip -r dir
```

lib ディレクトリは絶対含めない!!

● *dir* 以下の内容が圧縮され、ex4-2012345.zip が作られます

- 圧縮後に内容を“unzip ex4-2012345.zip”で確認すると提出ミスを防げて安全

提出方法 (3 of 3)

- 作成した zip ファイルを T2SCHOLA にアップロードする
- 締め切り

7 月 14 日 (木) 23:59 (JST)